SONY

ネットワーク
サーベイランス
サーバー

リリースノート

ソフトウェアバージョン 1.6.0

NSR-500 Series

第 1 版（最終修正日 2012 年 11 月 14 日）
© 2012 Sony Corporation

著作権について

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび本書の内容の全部または一部を複写すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。
ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねます。万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り換えいたします。それ以外の責はご容赦ください。このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

Microsoft、Windows、Internet Explorer 、Aero、Windows Vista および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
また、その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本書中で®、™マークは明記しておりません。

目次

1 概要 1
1-1 V1.6.0 で追加された機能 1
1-1-1 サポートカメラの拡充 1
1-1-2 Edge Storage 記録の対応 1
1-1-3 複数 Stream 送信が可能なカメラへの対応モデルを拡充 2
1-1-4 カメラの音圧検知機能への対応 2
1-1-5 DVD エクスポート機能 3
1-1-6 インストーラ構成とバージョンアップ時の内蔵ソフトの変更 3
1-1-7 ONVIF Profile S サポート(prototype) 3
1-2 サポートクライアントソフトウェアおよびツール情報 4
1-3 サポートカメラ情報 4
2 重要事項 9
3 注意事項 10
3-1 設置・システム設定 10
3-1-1 モニターの使用に関する注意事項 11
3-1-2 NSBK-EB05 アナログエンコーダーボードの使用に関する注意事項 13
3-1-3 HDMI オーディオの使用に関する注意事項 13
3-2 デバイス登録 14
3-3 メイン画面：モニタリング 14
3-4 メイン画面：再生コントロール 15
3-5 アラーム通知・履歴 15
3-6 検索画面 15
3-7 デバイス設定 16
3-8 サーバー設定 19
3-9 スケジュール設定 19
3-10 ユーザー設定 20
3-11 エクスポート 20
3-12 他社カメラ 20
3-13 その他 22
4 限定事項 24
4-1 V1.6.0 で解決された限定事項 24
4-1-1 NSBK-EB05 アナログエンコーダーボードの使用に関する限定事項 24
4-1-2 設置・システム設定 24
4-1-3 メイン画面・モニタリング 24

４-１-４ デバイス登録 25
４-１-５ デバイス設定 25
４-１-６ その他 25
４-２ 既知の限定事項 26
４-２-１ NSBK-EB05 アナログエンコーダーボードの使用に関する限定事項 26
４-２-２ 設置・システム設定 27
４-２-３ デバイス登録 27
４-２-４ メイン画面・検索再生 28
４-２-５ メイン画面・モニタリング 28
４-２-６ アナログカメラ操作 30
４-２-７ アラーム通知・履歴 30
４-２-８ 検索画面 31
４-２-９ デバイス設定 31
４-２-１０ サーバー設定 33
４-２-１１ アクション設定 34
４-２-１２ スケジュール設定 34
４-２-１３ エクスポート 35
４-２-１４ その他 36
５ 補足 37
５-１ 主な機能補足 37
５-１-１ NSR-1000 Series との違い 37
５-２ 主な機能追加履歴 37
５-２-１ V1.5.1 で追加された機能 37
５-２-２ V1.5.0 で追加された機能 38
５-２-３ V1.3.1 で追加された機能 38
５-２-４ V1.3.0 で追加された機能 39
５-３ 主な修正履歴 39
５-３-１ V1.5.1 で修正された事項 39
５-３-２ V1.5.0 で修正された事項 40
５-３-３ V1.3.1 で修正された事項 41
５-３-４ V1.3.0 で修正された事項 42
５-３-５ V1.2.2 で修正された事項 43

1 概要

本リリースノートは、NSR-500 (以下、NSR-500 Series)に搭載されているソフトウェアに関する情報を提供します。なお、NSR-500 Series 本体に内蔵されている RealShot Manager Advanced Client(IMZ-NS Series)の情報につきましては、Client に同梱されている RealShot Manager Advanced のリリースノートをご参照ください。

また、本書には RealShot Manager Advanced Client に関する項目は、[RealShot Manager Advanced Client]と項目に記述されます。

メモ

RealShot Manager Advanced Client とは、NSR-500 Series をリモートで操作する為のクライアントアプリケーションソフトウェアです。

1-1 V1.6.0 で追加された機能

1-1-1 サポートカメラの拡充

弊社製ネットワークカメラ、SNC-VB600 と SNC-VB630 に対応しました。(R295)

ご注意

本ソフトウェアリリース時点で未発売のモデルについては、発売時に予定されている仕様での検証をもって、サポート対象機種としています。

なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第 2 章以降の各章を参照してください。

その他対応機種一覧は、1-3 サポートカメラ情報を参照してください。

1-1-2 Edge Storage 記録の対応

弊社製カメラの Edge Storage 記録に対応しました。

本機能を有効にすると、Edge Storage 機能を有するカメラのメモリーに保存された画像を NSR-500 シリーズにダウンロードして利用することができます。(R246)

ご注意

- Edge Storage への画像の保存はカメラ固有の機能で、カメラの性能に依存します。記録可能な時間や記録条件等についてはカメラの関連資料を参照してください。
- [デバイス]-[一般]-Proxy 設定をされている場合は、有効となりません。
- Edge Storage の映像をダウンロードするときのポート番号は、554 固定です。カメラの Edge Storage 機能により記録された映像データは、ダウンロードを完了後に削除します。
- Video 設定のスケジュールとアラーム設定が異なる場合、アラームの映像をカメラ

の映像１、スケジュールの映像をカメラの映像 2 を使用します。カメラの Edge Storage 機能の映像記録は、スケジュールの設定を優先し、映像 2 に設定します。

- 無効にした場合、カメラ側の Edge Storage 設定を OFF にし、カメラの Edge Storage 機能により記録された映像データをすべて削除します。
- 簡単設定の自動記録で設定を行った場合、無効とする設定をします。本機能が無効となり、カメラ側の Edge Storage 設定も OFF となります。
- ネットワークインターフェイスは LAN1 をお使いください。LAN2 に接続されたカメラの Edge Storage 機能はサポートしません。

1-1-3 複数 Stream 送信が可能なカメラへの対応モデルを拡充

複数の Stream 送信機能を有するカメラで以下のモデルに対応しました。

SNC-CH210　SNC-DH210　SNC-CH120　SNC-DH120　SNC-DH120T
SNC-CH160　SNC-DH160　SNC-CH220　SNC-DH220　SNC-DH220T
SNC-CH260　SNC-DH260　SNC-CH110　SNC-DH110　SNC-DH110T
SNC-DH210T SNC-EP520 SNC-EP521 SNC-EP580 SNC-CH115
SNC-ER520 SNC-ER521 SNC-ER580
SNC-EP550 SNC-ER550 SNC-EB520 SNC-EM520 SNC-EM521

これらのカメラで映像の記録とモニタリングの各機能を同時に使用する場合に異なった映像設定が可能となります。(R217)

ご注意

本機能はカメラの性能によっては映像設定が不可能な組み合わせや、同時に使用できない機能が存在します。NSR-500 シリーズでは不可能な設定ができないよう、設定項目の表示での制限やメッセージによる通知を行っていますが、詳細はカメラの関連資料を参照してください。

1-1-4 カメラの音圧検知機能への対応

カメラの音圧検知機能を使用した記録機能を追加しました。

カメラの音圧検知機能を設定することができます。また、音圧検知をトリガーとした記録を行うことが可能です。対応したカメラは以下のモデルです。(R228)

SNC-CH280　SNC-DH280　SNC-CH240　SNC-DH240　SNC-DH240T
SNC-CH180　SNC-DH180　SNC-CH140　SNC-DH140　SNC-DH140T
SNC-RH164　SNC-RH124　SNC-RS86N/P　SNC-RS84N/P　SNC-RS46N/P
SNC-RS44N/P SNT-EX101 SNT-EX101E SNT-EX104 SNT-EX154

ご注意

音圧検知機能はカメラの機能となります。検知精度はカメラの性能に依存します。

1-1-5 DVD エクスポート機能

NSR-500 シリーズに USB 接続された外付け DVD ドライブに動画、音声そして静止画をエクスポートすることが可能です。(R325)

ご注意

本機能の検証で使用した DVD ドライブは、AC 電源を使用し、USB 1.1/2.0（USB Hub は介さない）で NSR-500 シリーズと接続をしています。メディアは「CD-R, -RW, DVD-R, +R, +R DL」が対象となります。

上記以外の動作環境では記録が正しくできない可能性があります。

RM-NS1000 からのエクスポートには対応していません。

1-1-6 インストーラ構成とバージョンアップ時の内蔵ソフトの変更

NSR-500 シリーズをインストールもしくはバージョンアップした際、本体に内蔵されるソフトウェアが変更となります。詳細は１-２節を参照してください。

インストールされないソフトウェアとドキュメントは以下のサイトから取得可能となる予定です。

http://www.sony.net/Products/IPELA/NSR/NSR500/

ご注意

バージョンアップにより、V1.5.1 以前に内蔵されていたソフトウェアとドキュメントは削除されます。

1-1-7 ONVIF Profile S サポート(prototype)

ONVIF Profile S に準拠した機能を搭載しました。

カメラの登録（自動検出を除く）、モニタリング、記録の基本機能は使用が可能です。ただし、カメラによって利用できる機能に制限がある場合があります。(M16:79)

ご注意

ONVIF Profile S に適合していることが検証されているわけではありません。実際の

運用にあたっては動作確認の上、お客様の責任でご利用ください。

1-2 サポートクライアントソフトウェアおよびツール情報

NSR-500 Series Version	NSR-500 Series Server Software Version	Support NSR Client [RealShot Manager AdvancedClient] Version	本体内蔵 Media File Player Version
V1.2.2	1.2.2.1	1.4.3.5	1.4.1.0
V1.3.0	1.3.0.2	1.4.4.7	1.4.2.2
V1.3.1	1.3.1.0	1.4.6.13	1.4.2.2
V1.5.0	1.5.0.7	1.5.0.7	1.5.0.3
V1.5.1	1.5.1.8	1.5.0.7	1.5.0.3
V1.6.0	1.6.0.792	1.6.0.792	1.6.0.19

* 本体から ftp でソフトをダウンロードする方法に関しては、設置説明書を参照ください。

* RealShot Manager Advanced および Media File Player の情報は、RealShot Manager Advanced に同梱されるリリースノートを参照してください。

ご注意

上記の表で同じ行の組み合わせで、モニタリング、検索および再生の動作確認をしています。なお、設定変更に関しては、不整合が生じる可能性があるため、直接 Server で行うか、上の表で同じ行に書かれているバージョンの Client から行うようにしてください。

1-3 サポートカメラ情報

Sony

Camera Model Name	Camera Firmware Version
SNC-CH110	v1.73 or higher
SNC-CH115	v1.71 or higher
SNC-CH120	v1.71 or higher
SNC-CH135	v1.61 or higher
SNC-CH140	v1.61 or higher
SNC-CH160	v1.71 or higher
SNC-CH180	v1.61 or higher
SNC-CH210	v1.73 or higher

SNC-CH220	v1.71 or higher
SNC-CH240	v1.61 or higher
SNC-CH260	v1.71 or higher
SNC-CH280	v1.61 or higher
SNC-CM120	v1.11 or higher
SNC-CS3	v1.08 or higher
SNC-CS10	v1.06 or higher
SNC-CS11	v1.06 or higher
SNC-CS20	v1.11 or higher
SNC-CS50	v2.33 or higher
SNC-DF40	v1.18 or higher
SNC-DF50	v1.23 or higher
SNC-DF70	v1.18 or higher
SNC-DF80	v1.23 or higher
SNC-DF85	v1.23 or higher
SNC-DH110	v1.73 or higher
SNC-DH110T	v1.73 or higher
SNC-DH120	v1.71 or higher
SNC-DH120T	v1.71 or higher
SNC-DH140	v1.61 or higher
SNC-DH140T	v1.61 or higher
SNC-DH160	v1.71 or higher
SNC-DH180	v1.61 or higher
SNC-DH210	v1.73 or higher
SNC-DH210T	v1.73 or higher
SNC-DH220	v1.71 or higher
SNC-DH220T	v1.71 or higher
SNC-DH240	v1.61 or higher
SNC-DH240T	v1.61 or higher
SNC-DH260	v1.71 or higher
SNC-DH280	v1.61 or higher
SNC-DM110	v1.11 or higher

SNC-DM160	v1.11 or higher
SNC-DS10	v1.11 or higher
SNC-DS60	v1.11 or higher
SNC-EP520	v1.70 or higher
SNC-EP521	v1.70 or higher
SNC-EP550	v1.70 or higher
SNC-EP580	v1.70 or higher
SNC-ER520	v1.70 or higher
SNC-ER521	v1.70 or higher
SNC-ER550	v1.70 or higher
SNC-ER580	v1.70 or higher
SNC-EB520	v1.70 or higher
SNC-EM520	v1.70 or higher
SNC-EM521	v1.70 or higher
SNC-P1	V1.30 or higher
SNC-P5	V1.30 or higher
SNC-RH124	v1.61 or higher
SNC-RH164	v1.61 or higher
SNC-RS44	v1.61 or higher
SNC-RS46	v1.61 or higher
SNC-RS84	v1.61 or higher
SNC-RS86	v1.61 or higher
SNC-RX530	v3.13/2.43 or higher
SNC-RX550	v3.13/2.43 or higher
SNC-RX570	v3.13/2.43 or higher
SNC-RZ25	v1.40 or higher
SNC-RZ30	v3.14/2.24 or higher
SNC-RZ50	v2.43 or higher
SNC-VB600	v1.2.0
SNC-VB630	v1.2.0
SNC-Z20	v1.06 or higher
SNC-ZB550	v1.72 or higher

SNC-ZM550	v1.72 or higher
SNC-ZM551	v1.72 or higher
SNC-ZP550	v1.72 or higher
SNC-ZR550	v1.72 or higher
SNT-EP104	v1.73 or higher
SNT-EP154	v1.73 or higher
SNT-EX101	v1.73 or higher
SNT-EX101E	v1.73 or higher
SNT-EX104	v1.73 or higher
SNT-EX154	v1.73 or higher
SNT-V704	v2.16 or higher

Axis

Camera Model Name	Camera Firmware Version
Axis 206	v4.40
Axis 207	v4.40
Axis 207W	v4.40.1
Axis 210	v4.40
Axis 210A	v4.40.1
Axis 211	v4.40
Axis 211A	v4.30
Axis 221	v4.45
Axis 209FD	v4.47
Axis 209FD-R	v4.47
Axis 209MFD	v4.47
Axis 209MFD-R	v4.47
Axis 216FD	v4.40.1
Axis 216FD-V	v4.40.1
Axis 216MFD	v4.47
Axis 216MFD-V	v4.47
Axis 225FD	v4.45
Axis P3301 (*1)	v5.01

Axis P3301-V (*1)	v5.01
Axis 212PTZ	v4.40
Axis 213PTZ with CM	v4.35
Axis 214PTZ	v4.40
Axis 215PTZ	v4.40
Axis 232D+	v4.41
Axis 233D	v4.48.1
Axis 241Q	v4.30
Axis 241QA	v4.30
Axis 241S	v4.40
Axis 243Q Blade	v4.45
Axis 243SA	v4.45
Axis 247S	v4.45
Axis Q7401 (*1)	v5.01
Axis Q7406 (*1)	v5.01

*1 JPEG のみサポートしています。

IQinVision

Camera Model Name	Camera Firmware Version
IQeye510	v2.8/6(080313)
IQeye511	v2.8/6(080313)
IQeye702	v2.8/6(080313)
IQeye703	v3.0/2(090521)
IQeye705	v3.0/2(090521)
IQeye711	v3.0/2(090521)
IQeye752	v3.0/2(090521)
IQeye753	v3.0/2(090521)
IQeye755	v3.0/2(090521)

2 重要事項

本体を扱う上での重要なお知らせです。

- 運用中、停電などにより強制的に電源が断絶した場合、電源再投入時にシステムが起動しなくなったり、記録・再生ができなくなったりすることがあります。停電が発生する環境で NSR-500 Series を継続的に運用する必要がある場合は、UPS のご利用を強く推奨いたします。そうではない場合は停電発生前に NSR-500 Series をシャットダウンし、停電終了後に再起動を行なっていただきますようお願いいたします。(M12:92)

- 電源投入時や再起動時にアラームが発生しなくても、最大２秒程度アラーム出力がオンになることがあります。アラーム出力をご利用の際にはご注意ください。(M12:31)

- 以前のバージョンの NSR-500 に収録されている RealShot Manager Advanced Client（および Media File Player）の不具合が、最新版にて修正されています。必要に応じて以下のサイトからダウンロードし、アップデートを実施してご使用ください。
  http://www.sony.net/Products/IPELA/NSR/NSR500/

- 高負荷時やネットワークの遅延等によって記録した映像のフレームレートにばらつきが生じることがあります。この記録映像を再生すると一瞬映像が止まったように見えたり、逆に早送りされているように見えたりしますが、映像フレームの欠落によるものではありません。

- NSBK-DH05 をご使用の場合、SNC-xx600 シリーズの H.264 Profile を切り替えると、カメラの映像が緑色になることがあります。これを避けるため、前記のようなシステムではご利用になる映像 1～3 の H.264 Profile をすべて同じ設定としてください。また、運用中の H.264 Profile の変更を避けてください。もしこの症状が起こった場合は映像設定をやり直してください。

3 注意事項

使用する上で、注意が必要な内容の項目です。

3-1 設置・システム設定

- Edge Storage 機能を使用する場合、カメラの時刻と NSR の時刻は、NTP サーバーに同期してください。

- Edge Storage 機能が使用するプロトコルは RTP/UDP である為、ネットワーク負荷が高い状態では、映像パケットが失われる可能性があります。

- 運用中に「セットアップメニュー」においてタイムゾーンを変更した場合、既存の記録スケジュールやアクション設定の時刻設定がずれます。スケジュール設定した後に、タイムゾーンを変更した場合は、全てのスケジュールを確認し、必要であれば正しい時刻に修正してください。(VT1:2026)

- USB マウスと USB キーボードはそれぞれ 1 つだけ接続してご使用ください。複数のキーボード接続や、KVM スイッチの使用は推奨いたしません。(VT1:1868)

- セットアップメニューの「SNMP」画面での設定において、Community, Contact, Location, Name の各設定内容の両端にダブルクォーテーションマーク(") を暗黙のうちに付加しております。しかし、V1.3.0 以前においてはそれが入力ボックスに表示されなかったため、ユーザーが削除することはできませんでした。本バージョンでは表示されるようになりますので、不要な場合には削除して下さい。なお、SNMP マネージャーによってはダブルクォーテーションマーク等の記号文字を正しく扱えない場合がありますので、ご注意ください。(M14:266)

- USB フラッシュメモリーを接続したまま起動をしないでください。USB フラッシュメモリーを使用する場合は、機器が起動した後、接続してください。(但し、USB インストーラが書き込まれた USB フラッシュメモリーは除きます。) USB フラッシュメモリーを接続したまま起動すると、起動ができなかったり、起動後に USB フラッシュメモリーを認識できなくなることがあります。このような状態になった場合には USB フラッシュメモリーを抜いた状態で再起動を行なってください。

(M14:148)

・ UPS をご使用中に停電が起きた場合は、NSR の突然の電源断を防ぐため、設定で自動シャットダウンを行うことができますが、停電復帰後、NSR が自動的に Power On しないことがあります。これは、電源断による NSR のシャットダウン中と UPS の電源回復がほぼ重なった場合に起きます。セットアップメニューの UPS にある Power off in seconds は、できるだけ Default の 300 秒より短くしないでください。また、電源断と回復が起きた時には念の為、NSR の Power ON LED を確認してください。(V14N:V14026,M15:220)

3-1-1 モニターの使用に関する注意事項

・ 最高解像度が NSR-500 のサポート外の解像度であるモニターを接続し、解像度の設定を Auto にした場合は、モニターの解像度はその最高解像度となりますが、メイン画面等は NSR-500 がサポートしている解像度の中で表示可能な最大の解像度の大きさで画面中央部に表示されます。たとえば最高解像度が 1680x1050 であるモニターを接続した場合には、モニターの解像度は 1680x1050 となり、その中央の 1360x768 の部分にメイン画面等が表示されます。(M14:169)

・ 選択した解像度をモニターがサポートしていない場合には、解像度はそのモニターの最高解像度になります。ご注意ください。(M14:22)

・ 最高解像度が NSR-500 のサポートしている解像度であるモニターであっても、解像度の設定を Auto にした場合に、モニターによっては最高解像度にならない場合があります。その場合は Auto ではなく、解像度を明示的に指定してください。(M14:22)

・ 本機で実際に出力している画面解像度とモニター自身の情報表示機能等で確認できる解像度が異なるモニターもあるようです。ご注意ください。(M14:22)

・ 1024x768 の解像度で正常に表示されないモニターの場合、起動画面やシャットダウン画面が正常に表示されません。(M14:144)

・ モニターをつなぎかえる場合は本体の電源が切れている状態で行ってください。

電源が入っている状態でつなぎかえると正常に表示されない場合があります。
モニターをつなぎかえる場合とは以下の場合をさします。

- HDMI モニター端子に接続していたモニターを別モニターに変更する場合
- モニター端子２に接続していたモニターを別のモニターに変更する場合
- HDMI モニター端子に接続していたモニターを取り外し、モニター端子２にモニターを接続する場合
- モニター端子２に接続していたモニターを取り外し、HDMI モニター端子にモニターを接続する場合

もし電源が入っている状態でつなぎかえて正常に表示されなくなってしまった場合には、電源スイッチを２度押しすることにより、もしくは使用していたモニターに接続を戻してシャットダウン操作を行うことにより、本体の電源を切った上でモニターを再度つなぎかえて下さい。正常に表示されるようになります。(M15:256)

・ HDMI モニター端子とモニター端子２のいずれにもモニターを接続せずに本体を起動した後でモニターを接続した場合、すぐにはログオン画面は表示されませんのでご注意ください。数秒間、HDMI モニター端子の場合は黒画面に、モニター端子２の場合はメッセージが表示された画面になります。(M15:266)

・ HDMI モニター端子とモニター端子２の両方にはモニターを接続しないでください。両方に接続すると何も表示されないなどの問題を引き起こす可能性があります。
もし両方に接続してしまった場合は、電源スイッチを２度押しすることにより、もしくは、シャットダウン操作を行うことにより、本体の電源を切った上で一方のモニターをはずしてください。(M15:266)

・ HDMI 接続ではモニターがサポートしている解像度であってもモニターによっては全面青色になる等、正常に表示できない場合があります。もし正常に表示されなくなってしまった場合には、電源スイッチを２度押しすることにより、本体の電源を切った上で別のモニターを接続し、そのままそのモニターをご使用頂くか、解像度を変更した後、本体の電源を切った上で元のモニターにつなぎかえて下さい。(M15:255)

・ モニターとしてテレビを使用する場合、オーバースキャンが有効になっていると画面の端が表示されません。オーバースキャンは無効にしてください。

・ NSBK-DH05 によってデコードされた画像は、デブロッキングフィルターによる画質補正を行っていないため、大画面で見た場合などに画像ノイズが目立つことがあります。画面が明るいほど目立ちますので、モニターの明るさを低くすることをお勧めします。(M15:312)

3-1-2 NSBK-EB05 アナログエンコーダーボードの使用に関する注意事項

・ 映像入力端子に NSR-500 本体の設定([セットアップメニュー]-[Video (Analog camera)])と異なるビデオフォーマットの信号が入力されている状態で NSR-500 本体を起動しないで下さい。そのような設定・接続の場合、映像はすべて VIDEO LOSS になります。正しい動作にするには、NSR-500 本体の電源を切り、設定と同じビデオフォーマットの信号を入力し、再度起動し直してください。また、入力されているビデオフォーマットが、本体起動中に設定と異なる信号に変更された場合は、そのチャンネルのみ VIDEOLOSS になります。ただし、この場合は、入力されている信号を設定と同じビデオフォーマットに変更することで元に戻ります。本体を再起動する必要はありません。(M15:100,171)

・ NSBK-EB05 をご使用の場合、本機の起動時に NSBK-EB05 の映像が映らない(VIDEOLOSS が表示される)ことがごく稀に発生します。そのため本機の起動後は NSBK-EB05 の映像をご確認ください。もし映像が映っていない場合は本機を再起動してください。(M16:175)

3-1-3 HDMI オーディオの使用に関する注意事項

・ HDMI オーディオ使用時は、各モニターフレームの表示フレーム数がフレームレートを下回るほどシステムの負荷が高い場合に、音声がぷつっと途切れることが時々ありますが、記録データには問題はありません。これを回避するためには、表示するモニターフレームの数を減らしたり、カメラのビットレートやフレームレートを下げたりしてシステムの負荷を下げるか、AUDIO OUT (ライン出力) を使用して下さい。(M15:310)

・ HDMI オーディオ使用時は、ご使用の HDMI モニターによってはマニュアルアクションやスケジュールアクションで設定したビープ音が全く鳴らなかったり、短い時間しか鳴らなかったりすることがあります。この現象の発生頻度はモニターの HDMI オーディオの処理に依存します。この現象を回避するためには、アクションでビープ音を使用する場合は AUDIO OUT（ライン出力）をご使用ください。(M15:319)

3-2 デバイス登録

・ 以下の文字はカメラ名に使用することができません。入力は禁止されます。(V11N:556)

¥ / : , ; * ? " < > | [ ]

・ カメラサーバーSNT-EX104/EX154/EP104/EP154 は同じ筐体でもビデオのチャネル毎に別の IP アドレスを持っています。そのため、複数のカメラサーバーを登録する際に、デバイスの自動登録や一括登録画面で IP アドレスを割り振ると、個別のチャネルごとに IP アドレスが割り振られるため、筐体の順番にまとまったアサインになりません。

IP アドレスを筐体毎にまとめてアサインするには、カメラサーバーを 1 台ずつ登録するか、事前にカメラサーバーの IP アドレスを設定してから一括登録画面で IP アドレスを変更せずに登録してください。(V11R:435)

・ デバイス一括登録でカメラを一度に登録した場合、登録中は,負荷が重くなる場合があります。登録処理中にログオフすると、次のログオンでタイムアウトする場合がありますので、数分間はログオフしないでください。(V11N:461)

3-3 メイン画面：モニタリング

・ Edge Storage 機能をご使用中にブラウザーからカメラの映像をモニタリングした場合、カメラ側に記録された映像の取得を正しく行うことができません。ブラウザーによるモニタリングは行わないでください。

・ カメラサーバーSNT-EX/EP シリーズに接続されているアナログカメラでは、DIRECT PTZ はご使用になれません。カメラコントロールペイン内のボタンかリモコンをお使いください。 (V11N:401)

・ NSBK-DH05 使用時は、各モニターフレームの表示フレーム数がフレームレートを下回るほどシステムの負荷が高い場合に、映像が実際よりも数秒程度遅れて表示され、さらに音声と映像の同期を取るために音声が乱れることがありますが、記録データには問題はありません。これを回避するためには、表示するモニターフレームの数を減らしたり、カメラのビットレートやフレームレートを下げたりしてシステムの負荷を下げてください。(M15:310)

3-4 メイン画面：再生コントロール

・ 多数のアラームが連続して発生した場合、タイムライン表示上、複数のアラームポイントがつながって表示されます。次の[前の]アラームボタンを押しても移動していないように見えますが、実際には移動しています。モニターフレーム内に表示される時刻で移動を確認してください。(VT1:1865)

3-5 アラーム通知・履歴

・ ログオフ中に発生したアラームに関しては、メイン画面下のアラームヒストリーでは表示は行えません。ログオフ中のアラームは、ログ表示ボタンからログ表示を行い、ログの種類で EventAlarm を選択してご確認ください。(VT1:1897)

・ SNT-V704 でセンサーアラームを検知すると、メイン画面下のアラームヒストリーには、登録されたチャンネル分(最大４つ)のアラームが上がります。(VT1:1707)

3-6 検索画面

・ スケジュール記録時間外およびマニュアル記録時に Edge Storage 機能により記録された映像は、サーバーには記録せずに削除されます。また、カメラからダウンロード中の映像は、再生することができません。

・ 検索したレコードを複数選択して削除する場合の上限は 100 件です。100 件以上の複数選択削除は行わないでください。検索に時間がかかる場合があります。(VT1:1844)

3-7 デバイス設定

カメラの設定やご使用に関する注意事項を以下に記載します。他の制限や注意事項に関しては、カメラの取扱説明書やリリースノートをご参照ください。

- SNC-xx600 シリーズでは、映像設定の CBR/VBR 設定で VBR を使用した場合に正しく映像設定ができなくなることがあります。SNC-xx600 シリーズをご使用の際は CBR/VBR 設定は CBR の設定でご利用ください。

- JPEG で、1280x720 を超えるような大きな画像サイズをお使いになる際、設定画面からは、カメラの限界性能を超えるフレームレートを設定できてしまう場合があります。カメラの制約事項をご確認のうえ、それに従って設定してください。(V13R:384)

- カメラのアラーム出力を利用する場合は、あらかじめ Web ブラウザーからカメラに接続し、カメラのトリガー設定のアラーム出力設定を有効にして、必ず「トグルモード」でお使いください。(VT1:2037)

- 以下のカメラにおいて VMD(カメラ)機能をご使用になる場合は、コーデックを MPEG4 に設定してください。(VT1:1866)
  SNC-RZ25, SNC-P5, SNC-CS10, SNC-CS11, SNC-P1, SNC-DF70, SNC-DF40

- 以下のカメラにおいてコーデックを MPEG4 に設定し、VMD(カメラ)機能をご使用になる場合、最大のフレームレートが、NTSC の場合は 20fps、PAL の場合は 16fps に制限されます。VMD（カメラ）を有効にした後に、再度、無効にした場合には、手動で、解像度を一旦変更して元に戻すことで、最大フレームレートの取得が可能となります。(VT1:2016)
  SNC-RZ50, SNC-CM120, SNC-CS50, SNC-CS20, SNC-DM160, SNC-DM110, SNC-DS60, SNC-DS10, SNC-DF85, SNC-DF80, SNC-DF50, SNC-RX570, SNC-RX550, SNC-RX530

- カメラサーバーをお使いいただく際は、接続するカメラによって、カメラのダイレクトパンチルトおよびエリアズーム機能はお使いいただけないことがあります。カメラのマニュアルをご確認ください。(VT2:776)

・ 以下のカメラで H.264 コーデックを使用する際､いくつかの制限事項があります。
SNC-CS50,SNC-DF50,SNC-DF80,SNC-DF85,SNC-RX530,SNC-RX550,
SNC-RX570, SNC-RZ50

- コーデックとしてひとつでも H.264 を選ぶと、ほかのコーデックは選択できません。
- H.264 コーデックを使用する場合は、アラームが利用できません。
- QVGA より大きな解像度を指定した場合、カメラの性能により設定画面で指定したフレームレートは出ません。
  NTSC: 10fps 以下
  PAL: 8fps 以下

・ 以下のカメラを 384x288 以上の解像度、MPEG4 で使用すると、フレームレートの出力の最大値が制限されます。(V11N:59)
SNC-CS50, SNC-DF50, SNC-DF80, SNC-DF85, SNC-RX530, SNC-RX550,
SNC-RX570, SNC-RZ50
・手振れ補正がオンのときには 15(NTSC)/20(PAL) fps 以下
・JPEG との Dual Codec または動体検知動作中は 20(NTSC)/16(PAL) fps 以下

・ SNC-DF85 を接続して 4CIF の解像度をお使いになる場合にはファームウェア V1.20 以上をお使いください。(V11N:226)

・ カメラサーバーSNT-EX シリーズに接続されているアナログカメラの制御プロトコル設定はブラウザーによる SNT-EX シリーズの設定画面にて行なってください。(V11N:169)

・ SNT-EX154 の Audio は､映像の Channel 1 でのみご使用になれます。(V11N:283)

・ SNT-EX シリーズの I/O ピンは、全ての映像チャネルで共有して使用します。全てのピンを Channel 1 だけで使用する、あるいは各 Channel で 1 つずつピンを使用することも可能です。ただし Output ピンを複数の Channel で共有すると、出力の状態に矛盾が生じる可能性がありますので、Output ピンはいずれか 1 つの

Channel でのみ使用してください。(V11N:284)

VMD(Camera)設定画面の検知サイズ設定は、VGA(640x480)座標系にて表現されており、カメラおよびカメラサーバー側に設定される値と異なります。検知サイズを調整する場合は画面上の枠表示を参考に行ってください。(V11R:483)

- 記録中に映像タブの設定を変更した場合、その記録に対して以下のような影響があります。(V11N:155)

  - マニュアル記録
    映像タブのモニタリング設定の変更が全て、その記録に反映されます。

  - スケジュール記録、イベント/アラーム記録
    - 映像タブのコーデックを変更した場合
      その記録に反映されます。
      コーデックの変更によって、既にスケジュールに設定されている画像サイズ/ビットレート/フレームレートの値が、そのコーデックでは設定できない値となった場合、その記録には映像タブの設定値が内部的に反映されます。スケジュール設定の表示は変更されません。
    - 映像タブの画像サイズ/ビットレート/フレームレートを変更した場合
      - スケジュールの設定の記録カメラの各値が"Device Setting"の場合
        映像タブの変更がその記録に対して反映されます。
      - スケジュールの設定を手動で変更できる場合
        スケジュールに設定されている値が優先されます。スケジュールの設定を手動で変更した場合、記録の状態が変更されるのは、次の記録の開始タイミングです。

  - デバイスのグループ設定にて、クライアントにて設定(追加、削除)後、サーバー側のグループ設定の表示が更新されません。設定どおりの動作は行われます。サーバー側でログオンし直すことで表示が更新されます。また、サーバー側にて設定した場合も同様です。クライアントをログオンし直すことで表示が更新

されます。(M12:57)
メモ
サーバー:NSR-500 Series, クライアント:RealShot Manager Advanced Client

3-8 サーバー設定

・ NSBK-DH05 を使用する場合、フラグメンテーションによるパフォーマンス低下を避けるため、ストレージ設定の[データ上書き]を有効にし、空き容量の[最小値]を 20%以上に設定することをお勧めします。(M15:304)

3-9 スケジュール設定

・ 「自動記録設定」で以下のカメラのスケジュール登録をした場合には、コーデックが MPEG4 ではなく、JPEG となります。設定変更が必要な場合には、デバイス設定の[映像]タブでコーデックの変更を行ってください。(VT1:1690)
SNC-CM120, SNC-CS20, SNC-DF85, SNC-DM110, SNC-DM160, SNC-DS10, SNC-DS60

・ 記録中に[ストレージ割り当て]の設定を変更しても、該当カメラの記録が一度停止し、再開されるまで新しい設定が有効になりません。以下の手順で[ストレージの割り当て]設定を変更されることをお勧めします。(VT1:1646)
1. 該当カメラのスケジュールを無効にする([有効]のチェックを外す)
2. [ストレージ割り当て]の設定を変更する
3. 該当カメラのスケジュールを有効にする

・ 記録中にオーディオの設定を有効にしても、音声の記録は開始されません。音声を記録するためには、記録開始時にオーディオの設定が有効になっている必要があります。(VT1:1643)
・ 既存スケジュールに記録対象カメラを追加するとき、カメラ記録設定が空欄になる場合があります。そのままでは記録がおこなわれません。その際は、カメラ設定に合わせるボタンを押して、設定の再取得をおこなってください。(VT1:1441)

・ 記録中にシステムの時刻を変更すると、記録されている時刻データもそれに伴い変更されます。そのため、記録の開始時刻と終了時刻の間隔が非常に長くなった

り、再生時にモニターフレームに表示されている時刻表示が突然ジャンプしたりします。システムの時刻を変更する場合は、記録を一度停止した後に時刻変更してください。(VT1:1659)

・ スケジュールの設定において、クライアント側にて設定(新規登録、編集、削除、更新)後、サーバー側のスケジュール表示が更新されません。設定どおりの動作は行われます。サーバー側でログオンし直すことで表示が更新されます。(M12:58)
メモ
サーバー:NSR-500 Series, クライアント: RealShot Manager Advanced Client

3-10 ユーザー設定

・ 半角英数字および「-」「_」以外の文字でユーザー名またはパスワードを設定するとそのユーザーでログオンできなくなります。ユーザー管理者権限を持ったユーザーでログオンし、該当ユーザーのユーザーID およびパスワードを変更してください。(VT1:1693)

・ ユーザーは自信自身のパスワード、権限、デバイスへのアクセス権の設定は変更できません。設定変更の権限を持ったユーザーにより変更をしてください。(M16:47)

3-11 エクスポート

・ 記録データのエクスポートは、同時に 200GB 以下、もしくは、1000 レコードまで可能です。(M16:54)

3-12 他社カメラ

・ AXIS 社のカメラ/ビデオサーバーでは、カメラ/ビデオサーバーのマスク機能をお使いください。(VT3:1093,950,926)

・ AXIS 社製カメラの JPEG 映像をモニタリングまたは記録している場合、設定画面の[映像]タブで画像サイズ、画質、フレームレートを変更しても、変更前の設定でモニタリングや記録が継続されます。モニタリングへ変更を反映するには、一旦ログオフし、再度ログオンしてください。記録へ変更を反映するには、記録スケジュール設定を一旦無効に設定して適用後、再び有効に設定して適用してください。(VT3:914)

・ コーデックを JPEG に設定した AXIS 社製カメラへの E-Flip を Camera に設定しても、映像が反転しないままモニタリングや記録が継続されることがあります。モニタリングへ変更を反映するには、一旦ログオフし、再度ログオンしてください。記録へ変更を反映するには、記録スケジュール設定を一旦無効に設定して適用後、再び有効に設定して適用してください。(VT3:912)

・ AXIS 社製カメラのプリセット名は、一度作成した後は変更できません。削除した後に、再度設定をおこなってください。(VT1:2159)

・ AXIS 社の PTZ 機能に対応したカメラ/ビデオサーバーでは、DIRECT PTZ はご使用になれません。カメラコントロールペイン内のボタンかリモコンをお使いください。(V11N:400)

・ AXIS 社製のカメラでコーデックを MPEG4 に設定した場合には、ポート番号 554 を使って RTSP で映像を取得します。AXIS 社製カメラを MPEG4 でお使いの際には、カメラ側の設定で RTSP を無効にしないでください。ポート番号は初期設定の automatically のままお使いください。(V11N:409)
登録されているカメラとの接続で設定できる Proxy サーバーは HTTP Proxy ですので、AXIS 社製のカメラでコーデックを MPEG4 に設定した場合には Proxy 経由での接続は出来ません。Proxy 経由で接続する場合にはコーデックを JPEG でお使い下さい。(V11N:411)

・ IQinVision 社製の 2M pixel 以上のカメラで、解像度とフレームレートの組合せによっては、フレームレートで設定した値の半分でしか映像が出力されません。(V11N:40,V11N:153)
実際にカメラから設定値通りのフレームレートで映像が出力されるかご確認の上、設定値の半分しかフレームレートが出ない場合には解像度あるいはフレームレートを別の設定に変更してください。
一例として以下の機種と設定値の組合せで発生することを確認しています。
全てバージョンは v3.0/2 で確認しています。
IQeye752 (最大解像度 1600x1200):
解像度 800x600 とフレームレート 20fps で、出力 10fps

IQeye753 (最大解像度 2048x1536):
解像度 1024x768 とフレームレート 12fps で、出力 6fps
IQeye755(最大解像度 2560x1920):
解像度 1280x960 とフレームレート 10fps で、出力 5fps

3-13 その他

- Edge Storage 機能によるカメラの記録から復帰するとき、通信状況によってはレコーダーでの記録の再開が遅れる場合があります。(M16:81)

- Edge Storage 機能を使用しながらマスクを使用する場合は、サーバーのマスク機能ではなく、カメラ/ビデオサーバーのマスク機能を使用してください。サーバーのマスク機能を使用した場合は、Edge Storage 機能による記録では、PTZ 動作に追従した記録ができません。(V16R:45)

- Edge Storage 機能による記録の VMD(レコーダー)機能は動作しません。

- [S/C] Edge Storage 機能では、音声および動体や不動体の情報は記録されません。そのため、VMF をトリガーとしたオブジェクト検索の対象になりません。(V16R:81)

- サーバーが正常にシャットダウンまたは再起動した場合、Edge Storage への記録は行われません。(M16:72)

- 以下のカメラのファームウェア V1.10 以降では、映像ストリームのビットレートの合計が 16Mbps を超える場合、カメラへの接続が拒否されます。記録やモニタリングに支障をきたさないために、システム稼働中には、ActiveX viewer などの他のアプリケーションからカメラに接続しないようにしてください。
  SNC-RH シリーズ
  SNC-RS シリーズ
  SNT-EP シリーズ
  SNT-EX シリーズ
  SNC-CH シリーズ
  SNC-DH シリーズ

SNC-EP シリーズ
SNC-ER シリーズ
SNC-EB520,SNC-EM520,SNC-EM521
SNC-ZB550, SNC-ZM550, SNC-ZM551, SNC-ZP550, SNC-ZR550

・ 弊社製ネットワークカメラ SNC-CH140 および SNC-DH140 をファームウェア Ver. 1.05 からバージョンアップする際に、RealShot Manager Advanced もしくは NSR-500 Series と接続しているとバージョンアップが完了しません。必ず接続を事前に解除して(モニタリングをやめ、記録スケジュールを無効にして)から行ってください。(V11N:609)

・ 記録画像のエクスポートにて本体より出力される Media File Player の動作推奨環境を変更しました。(M15:181)
CPU: プロセッサーIntel Core 2 Duo 2GHz 以上 (Intel 以外の CPU には非対応)
Memory: メモリ 1GB 以上 (2GB 以上を推奨)
モニター: ディスプレイ 1024 × 768 ピクセル以上、16 ビットカラー以上。

4 限定事項

機能や性能に関する限定の内容の項目です。

4-1 V1.6.0 で解決された限定事項

4-1-1 NSBK-EB05 アナログエンコーダーボードの使用に関する限定事項

・ NSBK-EB05 カメラ映像設定([デバイス]-[映像])を変更すると、各チャンネルの映像が VIDEO LOSS する場合がありました。 (M15:31)
上記の不具合を対策しました。

・ [セットアップメニュー]-[Video(AnalogCamera)] の項目にて、NTSC(D1/HalfD1/CIF) もしくは、PAL(D1/HalfD1/CIF) を選択した場合、CIF の映像の表示が、入力したビデオ信号に対して、右端が約 16 ドット欠けていました。 (M15:198)
上記の不具合を対策しました。

4-1-2 設置・システム設定

・ NSR-500 では、CH Product 製ジョイスティックは、使用できませんでした。(M15:119)
上記のジョイスティックに対応しました。

・ USB 経由でのバージョンアップの際、稀にサーバーのバージョンアップが失敗することがありました。その不具合を修正しました。(M16:170)

・ ロシア語キーボードを使用中、管理メニューのセットアップメニューでキーボードの設定を[ロシア語]にすると、ユーザー名とパスワードがロシア語で入力されてしまうため、ログオンできませんでした。(M15:293, Q:871)
この不具合を修正しました。

4-1-3 メイン画面・モニタリング

・ ERROR ランプをクリックしログを確認する際、稀に GUI が異常終了することがありました。(M15:308)
上記の不具合を対策しました。

・ SNT-V704 のカメラツアーが動作しませんでした。(M16:15)

上記の不具合を修正しました。

・ サーバーでエラーが発生していないにもかかわらず、クライアントの ERROR ランプが点灯してしまうことがありました。(M16:119, Q:937)
上記の不具合を修正しました。

・ NSR 起動直後にログオンしたり、自動ログオン機能を有効にしたりしている場合、カメラ等のツリー表示やモニターフレームにアサインされたカメラの映像が正しく表示されないことがありました。 (M16:120, M16:138, Q:948)
上記の不具合を修正しました。

・ NSBK-EB05 を使用していない場合、まれに RSMServer が異常終了してしまう不具合を修正しました。(M16:137)

4-1-4 デバイス登録

・ カメラの交換や IP アドレスの変更をするため、まとめて複数のデバイスを選んで削除した後、デバイスの追加をする場合は、3 分程度待つ必要がありました。(M15:226)
上記の不具合を対策しました。

4-1-5 デバイス設定

・ プリセット名の入力中に、左側のツリーにあるデバイスをクリックすると GUI が異常終了しました。(M15:311)
上記の不具合を対策しました。

・ レイアウトツアー中やレイアウト切り替えを行っている場合に、デバイスの codec 設定を H.264 および MPEG4 から JPEG へ変更すると本体動作が不安定になる場合がありました。(M15:236)
上記の不具合を対策しました。

4-1-6 その他

・ メイン画面よりログオフ後、直ぐにログオンの為にユーザー名を入力すると、稀に GUI が異常終了することがありました。(M15:215)

上記の不具合を対策しました。

・ ログオフ処理中、稀に GUI が異常終了し、ERROR ランプが点灯することがありました。 (M15:232)
上記の不具合を対策しました。

・ デバイス設定にて、NSBK-EB05 の H.264 の映像と NSBK-EB05 以外のカメラの H.264 の映像を設定しており、モニターフレームに HOTSPOT を指定している場合、検索画面や設定画面を閉じたタイミングで稀に GUI が異常終了する場合がありました。 (M15:228)
上記の不具合を対策しました。

・ E-Flip(Recorder)を使用して記録された映像は、Media File Player を用いて再生した場合、NSR-500 の表示とは上下反転の映像となっていました。 また、”Rotate 180 degrees” の状態で “AVI コンバート” しても上下反転の再生画像とはなりませんでした。(M15:72)
上記の不具合を対策しました。

・ 検索画面のリスト表示から RM-NS1000 を使ったエクスポートが正常に動作しませんでした。(M16:115)
上記の不具合を対策しました。

4-2 既知の限定事項

4-2-1 NSBK-EB05 アナログエンコーダーボードの使用に関する限定事項

・ カメラ自動登録の機能を使用する場合、NSBK-EB05(オプション)に接続されるカメラは自動登録されません。(M15:201)

・ NSBK-EB05 に接続されているカメラ(チャンネル)を VMD 設定している場合、PTZ 等による画像変化により動体検知されます。(M15:205)

・ クライアントにて NSBK-EB05 のカメラを複数選択して映像タブを開いたとき、選択された先頭のカメラがチャンネル 1～4 の場合は音声チャンネルメニューが有効になり、既存の設定にかかわらず Disable が選択されています。この値は、先

頭のカメラにのみ適用されます。A1-A4 の音声を使用する場合は、適切な値を選び直してください。(M15:212)

・ 稀に NSBK-EB05 のカメラ映像設定([デバイス]-[映像])とモニタリング画像に不整合が生じることがあります。その場合、再度 NSBK-EB05 のカメラ映像設定を行って下さい。(M16:187)

4-2-2 設置・システム設定

・ マイク入力は、将来拡張用端子です。

・ 記録画像のエクスポート、静止画ファイルのエクスポート、ログのエクスポート、構成情報の保存・復元、システム情報のエクスポート等データを出力する為に使用する USB フラッシュメモリーは、FAT32 フォーマットのみ対応しています。(M15:95)

・ サーバー設定を変更する際に、[Network interface for Remote Client]設定は、その他の項目と同時に変更することができません。[Network interface for Remote Client]設定は、単一で設定を行なってください。(Q:766)

4-2-3 デバイス登録

・ カメラ一括登録画面において、設定済みのデバイスが、未設定カメラ一覧に表示される場合があります。その場合は、再読み込みボタンを押して情報の更新をおこなってください。(VT1:764)

・ クライアント側でカメラを削除した後、同じカメラ名のデバイスをサーバー側で登録することはできません。登録する場合にはサーバーにてログオンし直してください。また、サーバー側でデバイスを削除した場合も同様です。クライアントにてログオンし直すことで、クライアント側から同じ名前で登録できます(M12:107)。

メモ

サーバー: NSR-500 Series, クライアント:RealShot Manager Advanced Client

・ NSBK-DH05 使用時は、カメラの登録操作を行っている際に、稀に GUI が異常終

了することが確認されていますが、記録等、その他の処理に問題はありません。ログオン画面が表示されますので、再度ログオンすることでメイン画面へ復帰します。(M15:320)。

・ SNC-xx600 シリーズの機種は、サーバーに登録されたことがないと「デバイスの追加」ダイアログの機種リストに表示されません。一括登録または Auto Connect を利用してカメラを登録したあと、NSR を再起動すると表示されるようになります。(M16:168)

4-2-4 メイン画面・検索再生

・ メイン画面の検索機能に置いて、Edge Storage 記録した映像は検索と再生の対象に含まれていません。検索画面を使用してください。(M16:41)

・ メイン画面からのクイック再生におきまして、記録が存在しない日時を指定して[Go]ボタンを押すと「記録なし(No Record)」の表示になりますが、その際、PLAYBACK モードから LIVE モードに表示が戻ります。(V11N:20)

・ 追いかけ再生（記録しながらの再生）で直近の映像を再生すると、数分で一時停止することがあります。続けて再生するには PLAY ボタンを押してください。(V11N:25)

・ 記録先を iSCSI に設定している際に、00:00:00～24:00:00 のスケジュールを設定して連続記録を行うと、PLAYBACK で映像を読み込むまでに 2 分程度かかる場合があります。
記録先を iSCSI にする場合には、通常記録の周期的なスケジュールで 1 日最低 1 秒の空白を入れることを推奨します。(V11N:38)
例) 開始時刻: 00:00:00　終了時刻: 23:59:59
また、「すべてのモニターフレーム」にチェックを入れて PLAYBACK を行なうと、再生開始までの時間が増えますので、長時間の記録を行なっている場合には、「すべてのモニターフレーム」はチェックせずに PLAYBACK してください。

4-2-5 メイン画面・モニタリング

・ モニタリングとスケジュール記録とで異なる映像設定をしているとき、記録開始

および停止時にモニタリングの fps が若干低下します。(V11R:625)

・ 記録中に Focus や Bright 設定を調整するとフレームの欠損が発生する場合があります。(V11N:489)

・ 再生カメラと同じレイアウトにホットスポットがある場合、再生カメラを選択すると、音声が出なくなることがあります。ホットスポットがアクティブなモニターフレームになっている時は、ホットスポット以外のモニターフレームを選択してアクティブにしてから PLAYBACK をしてください。(VT1:2247)

・ [カメラコントロール]ペイン[調整]タブに表示されるフォーカス/明るさ/デイ・ナイトの値は、カメラ設定が他のクライアントやブラウザーから変更されても表示上反映されません。(VT2:750)
メモ
クライアント: RealShot Manager Advanced Client

・ RM-NS1000 からマニュアルアクションを操作する際、RM-NS1000 の[Device Setup]を選択し、[MANUAL ACTION]を選択しても画面上に Manual Action List が表示されません。Manual Action List を表示させるには、RM-NS1000 をマウスモードにして、画面右上のペインから[マニュアルアクション]を選択して表示してください。(V11N:207)
メモ
RM-NS1000: システムコントローラー

・ 1fps 未満のフレームレートに設定したカメラの音声を記録する場合、音声と映像を同期して再生することが出来ません。例えば 0.25fps の映像記録を行なった場合、映像は 4 秒毎に 1 フレームの更新がされますが、音声は 1 フレームの映像に対して 1 秒間の音声を 4 回、繰り返し再生します。(V11N:368)

・ 以下のカメラでは、カメラのプリセットツアーを開始および停止する際に、数秒間、映像が停止します。プリセットツアー中は、映像は正常に表示されます。(V11N:450, V14R:145)
SNC-RH シリーズ

SNC-RS シリーズ
SNC-EP シリーズ
SNC-ER シリーズ

・ SNC-xx600 シリーズでは、明るさ(EV)の調節機能をお使いいただけません。(M16:146)

・ SNC-xx600 シリーズでは、Audio Upload 機能はお使いいただけません。(M16:184)

4-2-6 アナログカメラ操作

・ PTZ ができないアナログカメラでも「カメラコントロール」ペインやリモコンから、PTZ/FOCUS/BRIGHT の操作ができるように見えますが、これを行おうとすると、モニタリング画像および記録データが 1～2 秒停止しますので、PTZ ができないアナログカメラでは当該のコントロールを行わないでください。(VT1:1895)
また、PTZ が出来るカメラにおいては以下の制限があります。(V11N:86, V11N:400)
  ・ Auto Focus が使えないカメラがあります。その場合には Manual Focus をお使いください。
  ・ DIRECT PTZ はご使用になれません。PTZ の操作は、カメラコントロールペイン内のボタンかリモコンをお使いください。

・ NSR-500 本体と RS-485 接続しているカメラにて、パン／チルトボタンによる操作で、停止せずに PTZ し続ける場合があります。その際は、パン／チルトボタンのセンターにあるボタンで、停止してください。RM-NS1000 における操作の場合には、再度、センターに戻してください。また、ズーム操作の場合も停止せずにズーム動作が続く場合があります。その場合は、再度ズーム操作を行ってください。(M15:189)

4-2-7 アラーム通知・履歴

・ あるカメラの記録データを再生中に、別のモニターフレームを選択し、そこにアラームヒストリーから同じカメラのアラームを選択して再生させようとすると、再生をせずに LIVE となります。アラームヒストリーから再生する場合は、同じ

カメラの記録データの再生をしていないことを確認してください。(VT1:1687)

・ NSR-500 Series 本体のセンサー入力や Barionet など、カメラ以外のデバイス入力をトリガーとしたアラーム記録を設定した場合、アラームが発生しても、アラーム履歴にはカメラ名は表示されずトリガー名だけが表示されます。この行をダブルクリックしてもアラーム記録は再生されませんので、検索画面から検索して再生してください。(V11N:253, V11N:257)

・ サーバーがしばらくシャットダウンしていると電源回復後、クライアントへアラーム通知が届かず、クライアントアクションが動作しないといった不具合につながる可能性があります。これを避けるため、サーバーの復帰後にはサーバーへの再接続(再度ログオンする)を実施してください。(M15:218)

4-2-8 検索画面

・ ひとつのデバイスに対してアラーム記録とスケジュール記録**の両方を、同じ時間帯に設定している**場合に、検索画面の [前の記録]ボタンや[次の記録]ボタンでは意図した記録にジャンプしないことがあります。この場合、タイムライン上で再生したい時刻付近を指定してください。(V11N:642)

・ 検索結果のタイムライン表示において記録データを削除した場合、再度検索をおこなうと、削除されたはずのデータがタイムライン上に再表示されてしまう場合があります。その場合はもう一度検索をおこなってください。削除済みデータが検索結果に表示されなくなります。(VT1:1916)

・ 検索画面のコマ送りおよびコマ戻しは、選択したモニターフレームに対して行われます。(VT1:1757)

4-2-9 デバイス設定

・ デバイス設定画面の各タブで設定内容を変更後、[適用]ボタンを押さずに他のタブへ移動すると、以前のタブに戻ったときに設定内容の表示が元の値に戻って表示されますが、[適用]ボタンを押すと変更後の値が保存されます。各タブで設定内容を変更した場合には[適用]ボタンを押してから他のタブに移動してください。(V11N:61,M12:49)

・ 以下のカメラを登録直後に,その設定画面を開くと、「センサー入力」等のタブが表示されない場合があります。また、NTSC モデルにも関わらず、[映像]タブの解像度、フレームレートで PAL のリストが表示されることがあります。
このような場合は[一般]タブを開いて映像が表示されるのを確認してから、一旦、カメラツリーで他のカメラを選択後、再度、そのカメラを選択してください。(V11N:363, V11N:446)
また、デバイス設定を連続して行なっている際に、設定内容の適用後、稀に画面の再描画で設定内容の一部が表示されないことがあります。その場合も、一旦、カメラツリーで他のカメラを選択後、再度、そのカメラを選択してください。(V11R:521)

SNC-RH シリーズ
SNC-RS シリーズ
SNT-EP シリーズ
SNT-EX シリーズ
SNC-CH シリーズ
SNC-DH シリーズ
SNC-EP シリーズ
SNC-ER シリーズ
SNC-EB520,SNC-EM520,SNC-EM521
SNC-ZB550, SNC-ZM550, SNC-ZM551, SNC-ZP550, SNC-ZR550

・ 以下のカメラで、VMD(カメラ)を設定する際、設定画面では動体検知のプレビューを行なうことが出来ません。変更内容を適用後、メイン画面にて、モニターフレームにカメラをアサインして、検知状態を確認してください。(V11N:304)

SNC-RH シリーズ
SNC-RS シリーズ
SNT-EP シリーズ
SNT-EX シリーズ
SNC-CH シリーズ
SNC-DH シリーズ
SNC-EP シリーズ
SNC-ER シリーズ

SNC-EB520,SNC-EM520,SNC-EM521
SNC-ZB550, SNC-ZM550, SNC-ZM551, SNC-ZP550, SNC-ZR550

・ カメラを削除後に、削除した以外のカメラを選択すると、タブが一部表示されていない場合があります。このような場合は、デバイスの設定画面を閉じて画面を開きなおしてください。(M14:248)

・ NSR-500 Series では以下のカメラにおいて、映像 2 のストリームをご使用になることができません。また、以下のカメラのうち、SNC-CH220, SNC-DH220, SNC-DH220T,SNC-CH260,SNC-DH260 に関しては、NSR-500 Series から自動的に映像 2 を OFF に設定しないため、動体検知が正しく動作しない場合があります。ご使用になる前に、カメラ側の映像 2 が OFF になっていることをご確認下さい。(V14R:186)
SNC-CH-135, SNC-ZB550, SNC-ZM550, SNC-ZM551, SNC-ZP550,
SNC-ZR550

・ マスター、スレーブ構成運用にて、スレーブ機を再起動した際、直後にクライアントからログオンすると、稀に[設定]や[検索画面]ウィンドウの各設定や選択が出来ないことがあります。これを避けるには、スレーブ機が立上ってから 1 分程間を空けてからクライアントログオンを行うようにしてください。また、遭遇した場合でも、クライアントから再度ログオンし直すことで正常に機能させることができます。(M14:174,175)
メモ
クライアント:RealShot Manager Advanced Client

・ レイアウトツアー中やレイアウト切り替えを行っている場合に、デバイスの codec 設定を H.264 および MPEG4 から JPEG へ変更すると本体動作が不安定になる場合があります。これを避けるために、デバイスの codec 設定を JPEG へ切り替える場合には、レイアウトツアーの停止などレイアウトの切り替えを止めてから設定変更を行なってください。(M15:236)

4-2-10 サーバー設定

・ iSCSI ストレージを使用する場合、フラグメンテーションによるパフォーマンス

低下を避けるため、ストレージ設定の[データ上書き]を有効にし、空き容量の[最小値]には、10%以上に設定することをお勧めします。(V14N:161)

4-2-11 アクション設定

・ レイアウト上のアイコンクリックや、マニュアルアクション、スケジュールアクションで設定された、NSR-500 Series 本体の Beep 音を鳴らすアクションは 1 秒程度で停止します。スケジュールアクションで Beep を鳴らしても、Beep はすぐに停止しますので、オペレータが常時レコーダーの前にいるのでなければ、スケジュールアクションで Beep を鳴らすのではなく、アラームとして記録して、アラーム履歴でトリガーの発生を確認してください。 (V11N:107)

4-2-12 スケジュール設定

・ 複数のアラーム用トリガーに(センサー入力、カメラ妨害検知、動体検知)対して、同一時間帯に、それぞれ別々のアラーム／イベント記録スケジュールを登録すると、それらのトリガーのうちどれかが ON になっている間、他のトリガーによる記録は開始されません。記録漏れを防ぐため、以下のように設定してください。(V12R:57)
  ・ トリガーごとにそれぞれの記録スケジュールを別々に登録せずに、一つのスケジュールの中で、使用するすべてのトリガーを選択するようにしてください。
  ・ スケジュール登録時の[Alarm Record End]の設定は、必ず[From Alarm End]を選択してください。

・ 以下のカメラおよびカメラサーバーで、スケジュール記録を設定したとき、実際の記録開始が設定した時刻よりも 1～2 秒遅れてしまいます。(V11R:638)

  SNC-RH シリーズ
  SNC-RS シリーズ
  SNT-EP シリーズ
  SNT-EX シリーズ
  SNC-CH シリーズ
  SNC-DH シリーズ
  SNC-EP シリーズ
  SNC-ER シリーズ
  SNC-EB520,SNC-EM520,SNC-EM521

SNC-ZB550, SNC-ZM550, SNC-ZM551, SNC-ZP550, SNC-ZR550

・ 動体検知によるイベント記録／アラーム記録やイベント／アラーム発生が５秒未満に複数回発生する環境で、イベント／アラーム記録を行う場合は、記録が設定した時間よりも短く終わってしまうことがあります。アラーム開始時の記録を確実に残す必要がある場合、アラーム記録期間は５秒以上となるように長めに設定してください。また、アラーム開始前時間を１秒以上設定するようにしてください。(V11R:759, V11N:543, V11R:851, V11N:614)

・ 記録スケジュールの設定でスケジュール種類の変更を行う場合(例：アラーム記録->イベント記録)、デバイスの[映像]タブで設定する、「スケジュール記録」や「イベント/アラーム記録」設定の自動再読み込みはおこなわれません。カメラ設定に合わせるボタンをクリックして、設定を手動で取得しなおしてください。(VT1:1925)

・ スケジュール画面でアクションを新規作成する際、作成画面を閉じて、設定画面全体の閉じるボタンを押すと保存確認メッセージが表示されません。その時、保存確認メッセージが出ないまま、保存がされてしまいますので、キャンセルをしたい場合は、元の設定に再度設定しなおしてください。 (VT1:2243)

・ イベント・アラーム記録のスケジュールの設定におきまして、カメラの「全てのトリガーを表示する(Show All Triggers)」をチェックすることで、記録を行なうカメラ以外のトリガーを指定することができますが、設定を保存後に画面を再度開くと「全てのトリガーを表示する(Show All Triggers)」のチェックが外れた状態で表示されます。設定内容を確認する際には「全てのトリガーを表示する(Show All Triggers)」のチェックを入れてトリガーを確認してください。(V11N:241)

4-2-13 エクスポート

・ モニター画面を静止画にキャプチャする際には、CIF/4CIF 解像度の場合、アスペクト比を 4:3 に縮めて JPEG に変換されます。VGA(640x480)のように縦横比が 4:3 の解像度の場合にはそのまま JPEG に変換されます。

例: NTSC/CIF(352x240)の場合: 320x240

PAL/CIF(352x288)の場合: 352x264

また、カメラの解像度を 2CIF に設定している場合には、画面縦幅を基準に 4:3 のアスペクト比に変換されます。

例: NTSC/2CIF(704x240)の場合: 320x240

PAL/2CIF(704x288)の場合: 384x288

(V11N:37)

4-2-14 その他

- SNC-xx600 シリーズでは、Edge Storage 記録はできますが、本機では対応しておりません。

- [RealShot Manager Advanced Client]同梱のインテリジェントモニタリングソフトウェアにて、複数のサーバーを選択し記録画像を検索できますが、エクスポートする際、複数のサーバーから同時にエクスポートすることはできません。 複数のサーバーからエクスポートする場合は、1 サーバー毎に検索を実施しエクスポートを行なってください。出力先は必ず、サーバー毎に別フォルダを指定してください。万一同じフォルダを指定した場合、データは上書きされます。(M15:129)

- HVO-1000MD (HD VIDEO RECORDER) の記録画像をエクスポートし、Media File Player にて、「Use "Select Cam or Aud file" mode」のチェックを外して再生すると、映像が飛んでしまう場合があります。その場合は、チェックを入れて、映像を再生してください。(M15:190)

- [RealShot Manager Advanced Client]同梱のインテリジェントモニタリングソフトウェアにて、アナログカメラのコントロールタブに「自動パンチルト速度」がありますが、ネットワークカメラ用に用意されたものでオン／オフによる動作はしません。(M15:107)

5 補足

5-1 主な機能補足

5-1-1 NSR-1000 Series との違い

- 追加カメラライセンス機能あり
- 簡単設定 Wizard あり
- SNMP 機能変更
- HDD ホットスペア機能あり
- HDD 6 ベイまで対応
- マスク機能なし
- VMD(レコーダー)機能なし
- 滑らか表示機能なし
- VMF 機能なし
- 2nd モニター機能なし
- NSRE-S200/04 接続機能なし

5-2 主な機能追加履歴

5-2-1 V1.5.1 で追加された機能

5-2-1-1 NSBK-DH05 ディスプレイアクセラレーターボード対応

弊社製オプションボード NSBK-DH05 (ディスプレイアクセラレーターボード)の増設に対応しました。

ご注意

弊社製 HVO-1000MD（HD ビデオレコーダー）の映像には対応しておりません。HVO-1000MD を使用される場合は NSBK-DH05 を増設しないでください。

5-2-1-2 サポートカメラの拡充

以下の弊社製ネットワークカメラに対応しました。

ネットワークカメラ:

SNC-ZB550, SNC-ZM550, SNC-ZM551, SNC-ZP550, SNC-ZR550

ご注意

本ソフトウェアリリース時点で未発売のモデルについては、発売時に予定されている仕様での検証をもって、サポート対象機種としています。

なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第 2 章以降の各章を参照してください。

その他対応機種一覧は、１-３サポートカメラ情報 を参照してください。

5-2-2 V1.5.0 で追加された機能

5-2-2-1 NSBK-EB05 アナログエンコーダーボード対応

弊社製オプションボード NSBK-EB05（アナログエンコーダーボード）の増設に対応しました。

5-2-2-2 HVO-1000MD　HD ビデオレコーダー対応

弊社製 HVO-1000MD (HD ビデオレコーダー）の接続に対応しました。

5-2-3 V1.3.1 で追加された機能

5-2-3-1 サポートカメラの拡充

以下の弊社製ネットワークカメラに対応しました。

ネットワークカメラ:

SNC-EP550, SNC-ER550, SNC-EB520, SNC-EM520, SNC-EM521

ご注意

本ソフトウェアリリース時点で未発売のモデルについては、発売時に予定されている仕様での検証をもって、サポート対象機種としています。

なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第2章以降の各章を参照してください。

その他対応機種一覧は、１-３サポートカメラ情報 を参照してください。

5-2-3-2 タイムゾーンの追加

「セットアップメニュー」の「Date and Time」画面にて以下の Time Zone が選択可能になりました。

- (GMT-12:00)International Date Line West
- (GMT+5:30)Chennai, Kolkata, Mumbai, New Delhi
- (GMT+5:45)Kathmandu
- (GMT+13:00)Nuku' alofa

5-2-3-3 モニター解像度設定の追加

「セットアップメニュー」に「Monitor」が追加され、以下のモニター画面の解像度が選択可能になりました。

- Auto

- 1920 x 1200
- 1920 x 1080
- 1360 x 768
- 1600 x 1200
- 1280 x 1024
- 1024 x 768

「Auto」を選択すると、接続されているモニターの最適な解像度（通常は最高解像度）を自動検出して設定します。
なお、モニターの使用に関する注意事項については、３-１-１モニターの使用に関する注意事項 を参照してください。

５-２-４ V1.3.0 で追加された機能

５-２-４-１ サポートカメラの拡充

以下の弊社製ネットワークカメラに対応しました。

ネットワークカメラ:

SNC-ER580, SNC-ER521, SNC-ER520

ご注意

本ソフトウェアリリース時点で未発売のモデルについては、発売時に予定されている仕様での検証をもって、サポート対象機種としています。
なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第2章以降の各章を参照してください。
その他対応機種一覧は、１-３サポートカメラ情報 を参照してください。

５-３ 主な修正履歴

５-３-１ V1.5.1 で修正された事項

５-３-１-１ デバイス設定

- スケジュール記録等、記録を行なっている間に、VMD 設定を変更すると記録が停止してしまうことがあります。これを回避する為には、スケジュール記録等、記録をすべて停止してから VMD 設定を変更して頂くか、変更後は、本体を再起動することをお勧め致します。(M15:239)
  この不具合を修正しました。

・　複数のクライアントがサーバーに接続している状態で、ある 1 台のクライアントからカメラの設定変更を行った際、サーバーの負荷が上昇し、すべてのクライアントでの操作に支障をきたしてしまう。(V15N:252, Q:900)
この不具合を修正しました。

5-3-2 V1.5.0 で修正された事項

5-3-2-1 メイン画面

・ メイン画面のペイン伸縮ボタンを閉じたり、開いたりするとボタンが複製されました。この不具合を修正しました。(M15:50)

・ レイアウトツアーによるレイアウト切り替えやアラーム通知が発生している場合に、少なくとも 5 日以上の連続稼動の後に突然 GUI が異常終了してしまう不具合を修正しました。(M15:225)

5-3-2-2 検索画面

・ 検索画面にて、アラームまたはイベント記録のトリガー種別を選択した場合、V1.3.1 以降では検索結果が正しくないことがありました。この不具合を修正しました。(M15:76)

・ 検索画面にて、選択したカメラの記録データがない時間帯にウォーカーが、位置していると、エクスポートボタンが押せない不具合を修正しました。(M15:123,126)

5-3-2-3 スケジュール設定

・ スケジュール記録を設定する時、記録するカメラを一つもない状態でスケジュール保存すると、GUI が異常終了してしまう不具合を修正しました。(M15:139)

5-3-2-4 エクスポート

・ USB フラッシュメモリーにデータを書き込み中に、本体より USB フラッシュメモリーを取り外すと本体が突然シャットダウンしてしまう不具合を修正しました。ただし、書き込み中に取り外すとその書き込まれたデータは保障されません。データ書き込みが終了するまで、取り外すことは絶対に行わないでください。(M15:111)

5-3-2-5 その他

・ [RealShot Manager Advanced Client]メイン画面にカスタムレイアウトを表示している場合に、モニターフレームが選択されていない状態で、RM-NS1000にて、カメラアサインをすると GUI が異常終了してしまう不具合を修正しました。(M15:156)

・ [RealShot Manager Advanced Client] [PLAYBACK]をクリックした直後、[PLAYBACK]がハイライトする前にもう一度[PLAYBACK]をクリックしてしまうと、「サーバー:は利用できません」とのメッセージが表示されることがある不具合を修正しました。(M15:170)

・ [RealShot Manager Advanced Client] システムアラートを設定している場合に、NSR-500 本体の H/W エラーの通知がされないことがある不具合を修正しました。(M15:222)

5-3-3 V1.3.1 で修正された事項

5-3-3-1 設置・システム設定

・ [RealShot Manager Advanced Client]同梱のインテリジェントモニタリングソフトウェアインストールガイドおよびユーザーガイドが更新されました。(M14:39)

・ ライセンスをインストールした状態で、バージョンアップを行うとライセンスが反映されませんでした。この不具合を修正しました。(M14:88)

5-3-3-2 デバイス設定

・ 複数の映像設定が可能なカメラを複数台選択した際に、これまでは映像 1 しか設定できませんでしたが、V1.3.1 からはカメラの映像設定数にあわせて設定できるようになりました。(M12:6,M14:2,32)

・ 機種の異なるカメラを複数選択すると、VideoTab が現れない場合がありました。この不具合を修正しました。(M12:72,M14:85)

・ カメラを登録後に、[一般]タブでカメラ名を変更すると[映像]タブに切り替えた後、設定内容が空欄で表示される場合がありました。この不具合を修正しました。(V11N:383)

5-3-3-3 メイン画面：モニタリング

・ RM-NS1000 から検索画面を表示する場合、GUI がリスタートしてしまいました。この不具合を修正しました。(M14:92)
メモ
RM-NS1000: システムコントローラー

5-3-3-4 サーバー設定

・ 削除したデバイスの記録されたデータが、オーバーライト機能により、上書き及び削除しませんでした。この不具合を修正しました。(M14:117)

5-3-3-5 スケジュール設定

・ カメラのアラーム出力を反転状態で使用すると、そのカメラのセンサー入力や VMD（カメラ）をトリガーとしたアラーム/アクションが正しく動作しない問題を修正しました(M14:3)

5-3-3-6 エクスポート

・ USB フラッシュメモリーの空き容量が足りない場合に、エクスポートを行なうと GUI がリスタートしてしまいました。この不具合を修正しました。(M14:150)

・ 記録映像データをエクスポートする際に、指定した映像が正しくエクスポートされない場合がありました。この不具合を修正しました。(M14:228)

5-3-4 V1.3.0 で修正された事項

5-3-4-1 検索画面

・ カメラサーバーの入力の映像信号がなくなった状態の記録が行われた場合、その記録映像の時刻を含む検索(検索画面、GO ボタン、Playback、Playback Control)後、選択した位置の映像を正しく再生しない不具合を修正しました。(V14R:204)

5-3-4-2 デバイス設定

- RSM Ad Client から 768kbps より上のビットレート設定ができない問題を修正しました。対象カメラは,SNC-RZ50,SNC-CS50,SNC-DF50, SNC-DF80,SNC-DF85,SNC-RX530,SNC-RX550,SNC-RX570 です。（M13R:35）

5-3-5 V1.2.2 で修正された事項

5-3-5-1 設置・システム設定

- オーディオアウトプット端子の出力レベルが低い不具合を修正しました。

5-3-5-2 検索画面

- 言語を中国語・繁体字 に設定していた場合に、GUI 画面が異常終了してしまう不具合を修正しました。

5-3-5-3 RealShot Manager Advanced Client

- 言語を中国語・繁体字 に設定していた場合に、検索画面にて検索を行うと GUI 画面が異常終了してしまう不具合を修正しました。

- 言語をドイツ語に設定していた場合に、ユーザー登録画面にてユーザーを削除すると、GUI が異常終了してしまう不具合を修正しました。

- 言語を中国語・簡体字に設定し、サーバー設定画面のストレージのオーバーライトの値に不正な値を入れた場合、エラーメッセージに誤りがありました。この不具合を修正しました。